

# 令和8年度 学校経営方針

北海道函館聾学校

**<経営理念・ビジョン> (創立130周年後の在り方)**  
**「声が響き 手話が弾む～すべては子どものために、そして保護者に寄り添い、地域とともにある学校～」**

【目指す子ども像】(校訓)	【目指す学校像】	【目指す教師像】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広い心で 助け合う子ども (徳育・協働)</li> <li>○ よく考えて 学ぶ子ども (知育)</li> <li>○ 元気で たくましい子ども (体育)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもが通いたい学校</li> <li>○ 保護者が通わせたい学校</li> <li>○ 教職員が働きたい学校</li> <li>○ 地域の方々が訪れたい学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人として、当たり前のことを当たり前にできる「凡事徹底」と、幼児児童生徒に手本となるべく「率先垂範」ができる教師</li> <li>○ 常に学び続ける姿勢をもつ教師</li> <li>○ 善悪や規範意識等、適切な判断がくだせるよう感性を磨き、自分を律することができる教師</li> <li>○ 迷ったときには、常に答えは子どもたちにあることを知っている教師</li> <li>○ 幼児児童生徒のために為すべきことは何かを常に問い、決してふれることなく、効果的、効率的に業務を遂行できる教師</li> </ul>

## 学校教育目標

- ・すすんで知識・技能を磨き、生きて働くものとして習得する子どもを育てる。(知識・技能)
- ・自ら考え、判断し、適切に表現し、課題を解決する子どもを育てる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・すすんで学び、心豊かに、たくましく生きる子どもを育てる。(学びに向かう力・人間性等)

【教育方針】	【経営方針】
<p>・「実物・実体験・本物・優れたもの」に触れさせ、学ぶ喜びを実感できる授業改善に努めるとともに、自ら考え、判断し、表現できる子どもを育成する。</p>	<p>・「チーム函館聾学校」として、学校経営方針への意識を高くもち、全教職員が協働して業務を推進することで学校教育目標を達成する。</p>
【教育の重点】	【経営の重点】
<p><b>言語指導及び言語活動の充実</b></p> <p>1 学習の基盤となる言語能力を形成するため、子どもの発達段階にあった言語指導の充実を図るとともに、生きて働く言語能力の育成を各教科・教育活動で推進する。</p> <p><b>教科指導の充実</b></p> <p>2 「わかる授業」を目指した授業改善による子どもの学ぶ意欲を高めるとともに、学びを深めるための思考力・判断力・表現力を伸ばし、確かな学力を育成する。</p> <p><b>教育課程の充実</b></p> <p>3 子どもの良さや可能性を伸ばす指導及び各教科等横断的な視点(カリキュラム・マネジメント)に努め、全人的な発達と豊かな人格形成を図る教育課程の編成・実施・評価・改善を行う。</p> <p>4 「キャリア教育全体計画」を基に、職業教育や進路指導を充実させ一人一人が目標とする進路の実現と地域社会に貢献できる人材の基礎を育成する。</p> <p>5 道徳性や規範意識を涵養し、社会生活に必要なコミュニケーション能力と豊かな人間性を育む指導に努める。</p> <p><b>学校DX化による授業改善</b></p> <p>6 学校DX化による授業改善及び校務効率化を更に推進し、教育的効果を高める。</p> <p><b>専門性を高める授業改善</b></p> <p>7 幼児児童生徒の特性を踏まえた聴覚障がい教育の専門性の向上を図るため、研究や研修、授業実践に取り組み、授業改善を図る。</p>	<p><b>周年行事後の学校の在り方</b></p> <p>1 「創立130周年記念事業(R7年度)」後の学校の在り方を、昨年度の記念事業を踏まえ、子ども、保護者、同窓生、後援会及び地域の方々とともに新たな価値を創りだしていく。</p> <p><b>コミュニティ・スクール(CS)の推進</b></p> <p>2 地域学校協働活動としてのボランティアバンクを活用し、学校運営協議会と協力して地域や関係機関及ぶろう・難聴者との連携を強化し、唯一無二の教育活動を展開する。</p> <p><b>センター的(聴覚障害児支援中核)機能の発揮</b></p> <p>3 聴覚障がい特別支援学校として、道南地区における乳幼児期の早期発見、早期療育の実現及び療育の充実、通級による指導を含めた学齢児童生徒への専門的な指導・支援の充実等、センター的(聴覚障害児支援中核)機能の発揮に努める。</p> <p><b>高い危機管理意識と教育環境整備</b></p> <p>4 日頃より高い危機管理意識をもち、危機管理マニュアルの見直しを不断に行う等災害対策や学校事故の防止に努め、安全で安心な教育環境を整備する。</p> <p><b>働き方改革の推進とコンプライアンス(法令遵守)の確立</b></p> <p>5 「学校における働き方改革北海道アクション・プラン」の趣旨を踏まえ、「心理的安全性」と「同僚性」による全校的な『ウェルビーイング』の実現を図る。</p> <p>6 不祥事の根絶、服務規律の保持を目指し、研修会や注意喚起を適時実施し、教育公務員としての自覚と責任を促進する。</p>

## 令和8年度の重点 (学校設定項目)

- ・「実物・実体験・本物・優れたもの」に触れさせる教育活動を効果的に推進する。
- ・言語指導・教科指導を充実させ、確かな学力を育成する。
- ・ボランティアバンクを活用した地域学校協働活動で効果的な教育活動を推進する。
- ・教職員の指導技術と専門性の向上を図る研修を充実する。
- ・学校DX化による授業改善及び校務効率化を更に推進し、教育的効果を高める。
- ・災害対策や学校事故の防止に努め、安全・安心な教育環境を整備する。
- ・「心理的安全性」と「同僚性」による全校的な『ウェルビーイング』の実現を図る。
- ・不祥事の根絶、服務規律の保持を目指し、教育公務員としての自覚と責任を促進する。

## 学校研究課題

「こだわりや挑戦のある授業と、対話による振り返りを重視した授業研究」  
 ～主体的・対話的で深い学びの実装を目指して～